

大学等名：芝浦工業大学

テーマ：テーマⅠ（アクティブ・ラーニング）・Ⅱ（学修成果の可視化）複合型

建学の理念の下、学生の主体的な学びを促し、学修成果の可視化の為の取組を行う。

学長をリーダーとする教職学（学生）協働の組織的な体制のもとで、下記の3つの施策の実施により、

体系的なアクティブラーニング（AL）の改革、学修成果の可視化と学修時間の保証、教育改革の推進体制の強化を実現する。

課題

● 全学での体系的な
アクティブラーニング導入

● 大人数講義への
アクティブラーニング導入

● 授業外学修時間の把握

取組概要

建学の精神—社会に学び、社会に貢献する技術者の育成

教育目標—「統合的問題解決能力を備えた世界（社会）に貢献できる技術者」育成

4年間の体系的・組織的な
アクティブラーニング改革

学修成果の可視化と学生の学修時間の
PDCAサイクルによる保証

教育改革の推進体制の強化
教職学協働による学修の質保証

- 国際通用性のあるコースナンバリング
- 双方向システムによる大人数講義へのアクティブラーニングの導入
- PLAN ・学修成果と学修時間を保証するシラバス
- DO ・授業外学修時間を保証する学修マネジメントシステムの導入
- CHECK ・ルーブリック、eポートフォリオの導入強化
- ACT ・教職学協働のワークショップの組織的実施
- さらに発展した教職学協働の推進（教育改革ワークショップ）
- アクティブラーニング&アセスメントオフィスの開設

成果

平成31年度（目標値）

アクティブラーニングの拡充

● 学生の
授業外学修時間
26年度 5時間 → 28年度 9時間 → 24時間/週
実績 目標

● AL科目のうち、必修科目数の割合
26年度 29.4% → 28年度 24% → 52.8%
実績 目標

● ALを受講する学生の割合
26年度 89.7% → 28年度 92.3% → 96.8%
実績 目標

4年間の体系的な
アクティブラーニングの
全学導入

● AL科目を含む
カリキュラム設計を
体系的に実施した
学部、学科数の割合
26年度 未実施 → 28年度 100% → 100%
実績 目標

プロジェクトを通じた実践・経験



さらに強化した教職学協働の教育改革推進体制により、これまで本学が進めてきた教育の質保証への取組みを、学修の質保証へと発展・加速させていく。